

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用）

教科 国語

科目 文学国語

教 科： 国語

科 目： 文学国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：鈴木）（2組：塚原）（3組：鈴木）（4組：塚原）（5組：鈴木）（6組：塚原）

使用教科書：（新編 文学国語 大修館書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】動詞以外の活用語に注意しながら本文を読むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】文章の展開の仕方について、古典常識を下敷きに理解することができる。

【学びに向かう力、人間性等】興味・関心をもって授業に取り組むことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・動詞、形容詞、形容動詞、助動詞の活用や接続に注意しながら本文を読むことができる。 ・古文や漢文を読むために必要な古典常識や語彙を身につける。	・登場人物の行動の理由について、古典常識を下敷きに理解することができる。 ・文章が書かれた時代背景をもとに作品を読むことができる。	・興味・関心を持って授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「星取り」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○笑話であることを理解させる。 ○オチを理解させる。 ○動詞の活用を復習する。	○		○	【知識及び技能】 ○本文を間違えずつかえずに読むことができる。 ○古語辞典を使い、本文の意味を詳細に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○小僧の行動の理由と坊主の助言の内容を理解し、話のおもしろさを理解している。 ○話の展開を理解し、おもしろさの理由をとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○作品に興味をもち、現代の笑いや他の笑話を比較しようとしている。	○	○	○	5
	B 単元「兄の飴食ひたること」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○おもしろさを理解させる。 ○教訓を読み取らせる。 ○形容詞の活用を学習する。	○		○	【知識及び技能】 ○本文をつかえず正確に音読している。 ○古語辞典等を利用し、古文特有語や古今異義語に興味をもち調べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○兄の行動と言ひ訳の内容をふまえて、本話のおもしろさを理解している。 ○坊主と兄に対する編者の評価の違いがどこからくるのか考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○作品に興味をもち、他の説話や狂言などにも触れようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	C 単元「かぐや姫の昇天」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○本文の表現について意見を交換させる。 ○古代人の「月」に対するイメージについて自分の言葉でまとめさせる。	○		○	【知識及び技能】 ○当時の人々が「月」に対してどのような思いをもっていたのかに興味をもち、意見交流をしたり調べたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○「天の羽衣」を着た後のかぐや姫が「この衣着する人」と表記されている理由を考え、意見交流をしたり考えを深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○天の羽衣を着る前後のかぐや姫の様子から、「人間らしさ」とはどのようなことか、考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	D 単元「月やあらぬ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。 ○和歌の修辞について理解させる。 ○歌語として「月」が用いられている例を自分で調べて見つける。	○		○ ○	【知識及び技能】 ○歌物語や和歌に興味をもち、他の作品を調べたり探したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○「月」を詠んだ和歌に興味をもち、他の歌を探したり調べたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○なぜ男は女の移動先を知らながらも逢いに訪れなかったのか、考えを深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	E 単元「ころも」 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	○作者の来歴を理解させる。 ○本文中の語句の意味を理解させる。 ○場面ごとにあらすじをつかんで、登場人物の行動の理由について説明できるようにする。 ○作品に関連したテーマで自分の考えを述べたり比較したりする。				【知識及び技能】 ○語句の意味を、注や辞書を手がかりに理解し、自らの表現に生かしている。 ○作者についての知識をもち、日本近代文学史の流れを把握して、他者に説明している。 ○作品のあらすじをつかんで各段落の内容を理解し、場面の展開を簡潔にまとめている。				

て理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	考えを他者と共有させる。 ○近代文学への興味を持たせる。	○	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 ○Kに対する「私」の気持ちの推移を、場面展開に沿って理解し、「私」にとってのKとの関係性の変化を押さえている。 ○場面ごとの「私」の言動の理由を、文脈をふまえて理解し、簡潔にまとめている。 ○作品のテーマや感想などについて、積極的に話し合いに参加し、自分の意見と他者の意見を比較して多面的に考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○近代文学に興味をもち、積極的に他の作品を読み味わいながら感想をまとめたり、作品の魅力を他者に紹介したりしようとしている。	○	○	○	10
定期考査						○	○	○	1
E 単元「こころ」 【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す	○作者の来歴を理解させる。 ○本文中の語句の意味を理解させる。				【知識及び技能】 ○語句の意味を、注や辞書を手がかりに理解し、自らの表現に生かしている。				

[illegible]